平成21～26年度　小水力発電モデル施設の建設

本県の豊かな水資源を活用した小水力発電を積極的に推進するためタイプの異なる発電所を4箇所建設する、「小水力発電モデル施設」の建設が、平成26年9月の大城川発電所運転開始によって完成しました。

モデル施設の建設で得た知見を生かし、今後とも小水力発電の普及拡大に努めていきます。

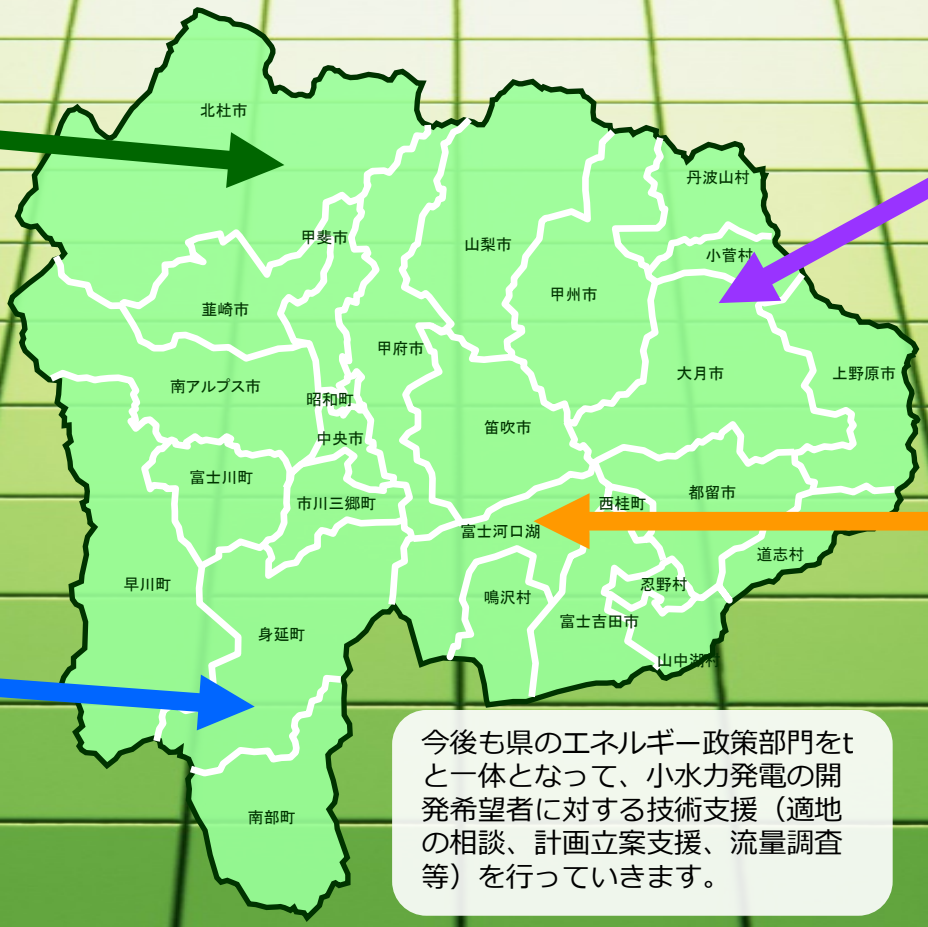
4箇所合計　出　力　551 kW
年間発生電力量　3,229MWh
事業費　776 百万円

塩川第二発電所
（H22.4.1運用開始）

出力:82kW
最大使用水量:0.20m3/s
年間発電電力量:520千kWh
峡北水道企業団施設内に設置

深城発電所
（H24.4.1運用開始）

出力:340kW
最大使用水量:1.00m3/s
年間発電電力量:1,824千kWh深城ダム河川維持放流を利用



大城川発電所
（H26.9.1運用開始）

出力:49kW
最大使用水量:0.56m3/s
年間発電電力量:375千kWh
大城川砂防ダムの落差を利用

若彦トンネル湧水発電所
（H22.4.1運用開始）

出力:80kW
最大使用水量:0.21m3/s
年間発電電力量:510千kWh
若彦トンネルの湧水の一部を利用

今後も県のエネルギー政策部門をtと一体となって、小水力発電の開発希望者に対する技術支援（適地の相談、計画立案支援、流量調査等）を行っていきます。